

High End Systems Halcyon Silent ユーザーマニュアル

バージョン 1.3.4

部品番号 : 2572M1210-1.3.4 改訂版 : A

発行日 : 2025 年 5 月

安全にお使いいただくために

警 告



- 演出空間用の器具です。演出空間の用途以外には、使用しないでください。一般用照明器具として使用する製品ではありません。



- 弊社指定の使用条件でお使いください。
使用条件を厳守されないと、感電・火災の原因となります。



- 器具の本体質量に見合ったスタンド（取付金具）を使用してください。
スタンド（取付金具）の選定を間違えると落下し、物的損害・けがの原因となります。



- 器具の取付・設置には、可燃物と器具周辺面（照射方向を除く）との最小距離を本体表示及び取扱説明書に従って十分な距離をとって、取付けてください。
指定距離より近すぎると、火災の原因となります。



- 集光形照明器具と被照射面の距離は、本体表示及び取扱説明書に従って十分な距離をとってください。
指定距離より近すぎると、被照射物の火災の原因となります。



- 器具の使用角度に制限があります。本体表示及び取扱説明書に従って正しく使用してください。
使用角度範囲を越えると、器具の破損、ランプの破裂の原因となります。



- 器具の取付・設置時は、電源コードを器具本体に接触しないように取付けてください。
接触していると火災の原因となります。



- 器具の点灯中及び消灯直後は、本体周辺を素手で触らないでください。
本体周辺が高温のため、やけどの原因となります。



- 器具を分解したり改造しないでください。
故障・感電・火災の原因となります。



- 煙がでたり、変な臭いがするなどの異常状態のままで使用すると、火災・感電の原因となります。



- 異常の時は、すぐに電源を切り、異常状態がおさまったことを確認してから原因を究明してください。
容易に原因の究明ができない場合は、弊社に修理依頼をしてください。

注 意

1. 使用環境・使用条件について

- この器具は屋内用です。
- この器具は最高周囲温度以下で使用してください。
破損・変形・火災とランプの破裂の原因となることがあります。
- この器具は許容周囲温度内で使用してください。
- 不安定な場所や燃えやすいものの近くで使用しないでください。
倒れたり、落ちたりして、火災・けがの原因となります。

2. 取付・設置について

- 器具の取付・設置前に必ず取扱説明書または注意書をよくお読みください。
また、お読みいただいた後は大切に保管し、必要なときに活用ください。
- 器具の取付・設置は、「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が行ってください。
未熟者だけでの対応は間違いの原因となるおそれがあります。
- 据付施工は、電気工事士などの熟練者（専門家）が行ってください。
未熟者だけでの対応は、間違いの原因となることがあります。
- 器具、電源ボックス（整流器）の取付・設置に方向性があります。本体表示及び取扱説明書に従って正しく取付けてください。
指定以外の取付けを行うと、本体の破損や火災・けがの原因となることがあります。
- 器具の取付・設置には、器具本体の転倒・落下防止を取扱説明書に従って正しく行ってください。
器具が転倒・落下し、物的損害・けがの原因となります。
- 器具本体はアース接続（D種接地）してください。
アース接続をしないと感電・故障の原因となることがあります。

3. 使用前の準備について

- 器具の使用前に必ず取扱説明書または注意書をよくお読みください。
また、お読みいただいた後は大切に保管し、必要なときに活用ください。
- 器具の使用前の準備は、「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が行ってください。
未熟者だけでの対応は間違いの原因となるおそれがあります。
- 電源接続は、取扱説明書に従って確実に行ってください。
接続が不完全な場合は、接触不良により火災の原因となります。
- 器具内部の輸送用緩衝材などを取り外して使用してください。
残材があった場合は、器具の破損・火災の原因となります。

4. 使用方法について

- 器具を取扱う場合は、「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が行ってください。
未熟者だけでの対応は間違いの原因となるおそれがあります。
- 器具、電源ボックス（整流器）の取付に方向性があります。本体表示及び取扱説明書に従って正しく取付けてください。
指定以外の取付けを行うと、本体の破損や火災・けがの原因となることがあります。
- 器具の取付けには、器具本体の転倒・落下防止を取扱説明書に従って正しく取付けてください。
確実に取付けないと取付金具等の破損により器具が落下し、物的損害・けがの原因となります。

注 意

- 器具本体はアース接続（D種接地）してください。
アース接続をしないと感電・故障の原因となることがあります。
- 器具の安全シールド（レンズ、ガラス等）を取り外して使用しないでください。
ランプの破裂などにより破片等が落下し、火災・やけどの原因となります。
- 地震などの天災の後、再使用前に「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が、点検を行ってください。
未熟者だけでの対応は間違いの原因となるおそれがあります。

5. 保守点検について

- 器具は、日常点検を実施してください。点検の結果、取扱説明書に記載されている基準をはずれている場合は、取扱説明書に基づき処置してください。
- 器具の点検（整備）は、「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が行ってください。
未熟者だけでの対応は間違いの原因となるおそれがあります。
- 部品交換、清掃時は、必ず電源を切ってください。
電源を切らないと感電することがあります。
- 電源コード、接続器は日常点検し、点検の結果、取扱説明書に記載されている基準をはずれている場合は、取扱説明書に基づき処置をしてください。
感電・火災の原因となることがあります。
- 冷却ファンは、埃などでふさがっていないか日常点検し、清掃してください。
器具の故障・火災の原因となります。
- 安全シールドに亀裂がないか日常点検し、点検の結果、取扱説明書に記載されている基準をはずれている場合は、取扱説明書に基づき処置をしてください。
ランプの破裂などにより破片が落下し、火災・やけどの原因となります。
- レンズの清掃は、レンズに傷をつけないように取扱説明書に従って実施してください。
レンズの破損・けがの原因となります。
- 器具のネジ類は、振動等で緩む場合があります。取扱説明書に基づき処置してください。
故障、落下による物的損害・けがの原因となります。
- 埃や紙吹雪が溜まったまま使用しないでください。
火災の原因となります。
- 交換部品は、弊社指定の純正部品を使用し、取扱説明書に基づき確実に処置をしてください。
器具の機能劣化・故障・感電・火災の原因となります。
- 日常点検の他に弊社や専門家による定期点検を実施してください。
器具の機能劣化・故障・感電・火災の原因となります。

6. 保管時について

- 埃の多い場所や湿度が高く、結露しやすい環境に保管しないでください。
故障・絶縁不良の原因となります。
- 安全シールドに損傷を与えないように保管してください。
安全シールドの効力をなくす原因となります。
- 再使用するときは、点検を必ず行ってから使用してください。
感電・火災の原因となるおそれがあります。

ETC の商標及び特許については、etconnect.com/ip を参照してください。その他すべての商標は、記載の有無を問わず、各々の所有者の財産となります。

High End Systems の条項及び条件ならびに保証に関する情報については、etconnect.com/Support/warranty.aspx を参照してください。

各サードパーティライセンスの条項及び条件に定める範囲において、本マニュアルに完全に組み込まれるサードパーティライセンスをすべて記載した詳細なリストについては、etconnect.com/licenses を参照してください。

ご利用の製品の設定または地域によっては、ソフトウェアまたはハードウェアの機能の一部を利用することができない場合があります。

本マニュアルに掲載している画像は、あくまで参考用です。製品の詳細及び市場の地域によっては、本マニュアルに記載の情報がご利用の製品と若干異なる場合があります。

ETC では、印刷版であるか電子版であるかを問わず、本マニュアルを完全な形で提供していただくようお願いしております。

目次

はじめに.....	6
本文書で使用する記号	6
技術サービスへのお問い合わせ.....	7
安全に関する注意事項	8
操作と使用に関する一般的なガイドライン.....	10
概要	11
器具	11
ユーザーインターフェース	12
タッチスクリーンディスプレイ.....	12
ナビゲーションコントロール.....	13
仕様.....	13
動作周辺環境	13
電源	14
電気仕様	14
入力と力率	14
1 回路あたりの器具数.....	14
コネクタの仕様	14
器具の設置.....	15
DMX 制御.....	17
DMX コネクタピン配列	17
DMX ケーブルの器具への接続	18
DMX の終端処理	18
DMX 制御とイーサネット出力	18

DMX スタートアドレスの設定	19
DMX チャンネル.....	19
イーサネット制御	20
イーサネットケーブルの器具への接続	20
イーサネット制御と DMX スルー.....	21
DMX の終端処理	21
DMX スタートアドレスの設定	21
制御ソースとネットワークの設定	22
器具の設定	23
DMX アドレス.....	23
設定メニュー	23
制御オプションの設定	23
ネットワークオプションの設定.....	24
パン／チルトオプションの設定.....	25
調光オプションの設定	26
ゴボ色補正の設定.....	26
温度表示に使用する単位の設定	26
ディスプレイオプションの設定.....	26
ソフトウェアのアップデート	27
キャリブレーションの設定	28
サービス設定へのアクセス	28
エンコーダーの設定	29
ゴボのインデックス	29
オートフォーカスのキャリブレーション	29
工場出荷時設定値への器具のリセット.....	29
テスト／ホームメニュー.....	30
器具の機械的位置のリセット.....	30
器具のテスト	30
チャンネルの個別テスト	30
手動によるチャンネルの個別設定.....	30

パン／チルトエンコーダーのキャリブレーション	30
診断メニュー	30
ソフトウェアバージョンの確認	30
温度の表示	30
利用情報の表示	31
器具エラーの表示	31
センサー状態の表示	31
チャンネルの DMX 値の表示	31
エンコーダー情報の表示	31
RDM と IP アドレス情報の表示	32
「Set Light」アプリを使用した器具の設定	32
ゴボの交換	32
エラーコード	33
エラー	33
メンテナンス	37
器具の清掃	37
ヒューズの交換	37
バッテリーの交換	38
コンプライアンス	39
FCC コンプライアンス	39

はじめに

本マニュアルには、ご利用の High End Systems Halcyon Silent 器具の安全な設置方法と設定、メンテナンスに関する重要な情報を記載しています。安全にご利用いただくため、本マニュアルをすべてお読みいただいた上で、器具の設置や操作、修理作業を実施してください。

ETC では、器具をご使用いただく前に、器具のソフトウェアを最新バージョンにアップデートすることをお勧めしています。ソフトウェアは、ETC ウェブサイト (etcconnect.com/Products/Automated-Fixtures) から無料でダウンロードすることができます。

- ご利用の器具に現在インストールされているソフトウェアのバージョンを確認する方法については「[ソフトウェアバージョンの確認](#)」(30 ページ) を参照してください。
- 器具のアップデートに関する説明については、「[ソフトウェアのアップデート](#)」(27 ページ) を参照してください。

本文書で使用する記号

本マニュアルでは以下の記号を使用し、特にご注意ください重要な情報を記載しています。



注記： 注記には本文の補足として、役立つヒントと情報を記載しています。



注意： 「注意」記号が表示されている文章は、ある動作によって望ましくない影響が生じるおそれがあることを示しています（データの損失や装置に関する問題など）。



注意： 表面が高温です。この注意文は、操作中に装置の表面が非常に高い温度に達する可能性があることを示しています。器具を取り扱う際や修理を行う際には、器具の温度が完全に下がるまで待った上で作業を行ってください。



警告： 「警告」記号が表示されている文章は、装置の損傷や負傷事故が生じるおそれがある状況、またはある動作によって重大な影響や危険な影響が生じるおそれがある状況を示しています。



警告： 感電の危険があります！ この警告文は、感電の危険がある状況を示しています。

ETC オートメイトライティングに関する資料は、すべて当社ウェブサイト (etcconnect.com/Products/Automated-Fixtures) から無料でダウンロードすることができます。

本マニュアルについては、TechComm@etcconnect.com に電子メールにてお問い合わせください。

技術サービスへのお問い合わせ

本マニュアルを参照しても問題が解決しない場合には、ETC サポートウェブサイト

(support.etcconnect.com) または ETC LED オートメイトライティング製品ウェブサイト

(etcconnect.com/Products/Automated-Fixtures) を参照してください。上記ウェブサイトから十分な情報が得られない場合には、etcconnect.com/contactETC から ETC 技術サービスにお問い合わせください。緊急サービスは、すべての ETC オフィスを通じ、通常の業務時間外にご利用いただけます。

お問い合わせの際には、最初に以下の手順をご確認ください。

- 問題の詳細についてご説明いただくご準備をお願いいたします。
- トラブルシューティングに対応するため、器具の近くに待機してください。
- 以前にお問い合わせいただいたことがある場合には、お客様のチケット番号をご用意ください。

安全に関する注意事項

安全に操作していただくため、本ユーザーマニュアルに記載の安全に関する説明と警告に従って作業してください。

- 本器具は業務用です。住宅用ではありません。本器具の使用前に、マニュアルをすべてお読みください。
 - 修理の際には、保証の対象範囲に変更が生じないように、担当の認定 ETC 代理店または技術サービスまで事前にお問い合わせください。
-



警告： ご使用いただく前に、安全に関する以下の警告にご注意ください。

- 本器具の設計上、資格を有する職員以外は操作することはできません。
 - 動作中の光源を見つめないでください。目に障害が生じるおそれがあります。
 - ヒューズを交換する際には、必ず指定の型式と定格のヒューズを使用してください。[37 ページ](#)を参照してください。
 - 法令の範囲内の電圧の利用が可能であることを確認してください。[14 ページ](#)を参照してください。
 - 本器具を使用する際には、損傷した電源コード（コードセット）を接続しないでください。電源コードが損傷している場合には、必ず資格を有する技師が同等の型式のコードと交換した上で使用してください。交換用の電源コードについては、お近くの認定代理店までお問い合わせください。
 - レンズが損傷している場合には、本器具を使用しないでください。必ず損傷したレンズを交換した上で使用してください。交換品については、お近くの認定代理店までお問い合わせください。
 - 6.4 m（21 フィート）よりも近い距離から器具を長時間見つめる状態が生じないと考えられる場所に器具を設置してください。
 - 可燃性物質の表面や付近に本器具を設置しないでください。
 - 器具ヘッドから可燃性物質までの間隔を 0.1 m（4 インチ）以上確保してください。
 - 照明対象物までの距離を 2.0 m（6 フィート 7 インチ）以上確保してください。
-
-
-



警告：感電の危険があります！

- カバーを開けた状態で本器具を操作しないでください。
- クリーニング作業やメンテナンス作業を行う際には、事前に器具から電源と DMX の接続を外し、冷却した上で作業してください。



リスクグループ 2：注意 本製品からは、有害な放射光が放出される可能性があります。動作中の光源を見つめないでください。目に障害が生じるおそれがあります。

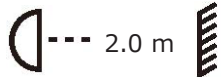


注意：表面が高温です。 本器具を取り扱う際や修理を行う際には、器具の温度が完全に下がるまで待った上で作業を行ってください。



注記： 本灯具の光源をユーザー側で交換することはできません。資格を有する技師以外は、絶対に交換作業を行わないでください。詳細については、ETC カスタマーサポートまでお問い合わせください。

製品ラベルに使用されている記号の定義を下表に示します。

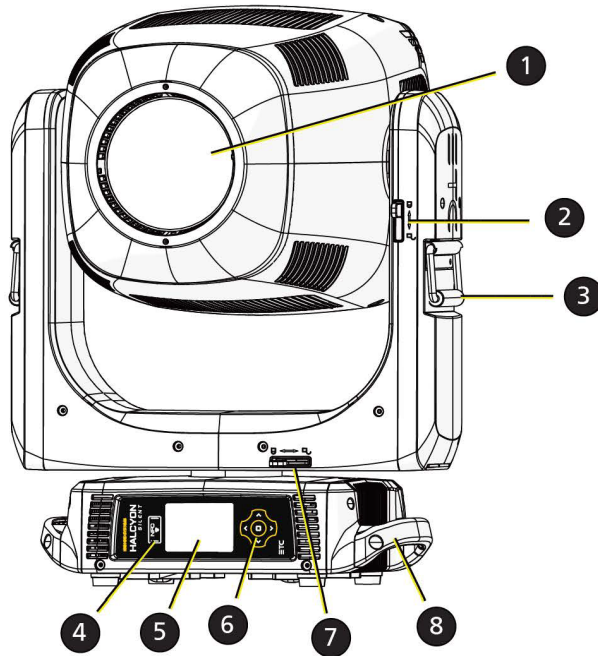
	すべての照明対象物から 2.0 m（6 フィート 7 インチ）以上離れた位置に灯具を設置しなければなりません。
	一般的な警告
	動作中の光源を見つめないでください。
	本製品を廃棄する際には、分別ごみとして処理する必要があります。必ず回収・リサイクル用の分別ごみ収集施設に送付してください。
	本製品は屋内専用です。天候の影響を直接受けない場所で使用してください。

操作と使用に関する一般的なガイドライン

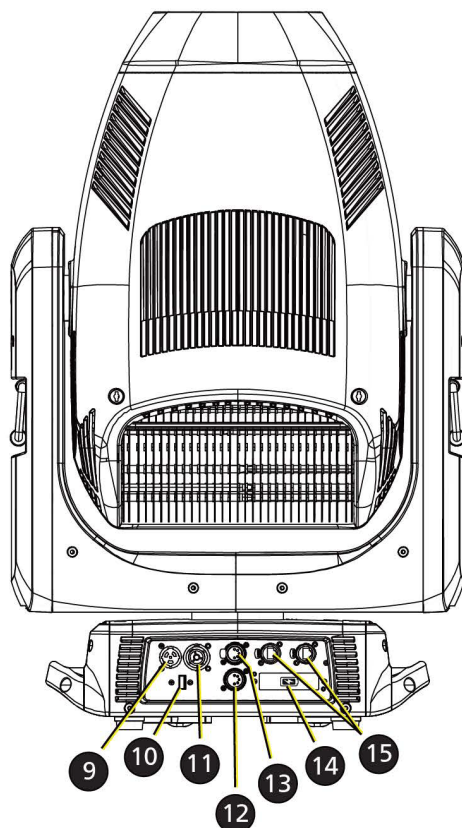
- 本器具を操作する際には、必ず本器具に添付の技術仕様ラベルに記載する範囲内の交流電流を使用してください。
- 設計上、ライティングエフェクトは長時間の運転に対応していません。定期的に運転を休止することにより、器具の寿命が延びる可能性があります。
- 設置場所を選択する際には、本器具が極度の高温や湿度、粉塵に曝露されないことを確認してください。
- レンズを太陽やその他の明るい光源に向けないでください。器具が損傷するおそれがあります。
- 同梱のブラケット（簡易ロックつまみねじ付）を使用して器具を吊り下げる場合には、90 度ポジティブラッチ全体につまみねじが嵌合していることを確認してください。
- 器具の機能について十分に理解した上で、操作してください。資格を有していない人物や、器具の機能を十分に理解していない人物には、器具を操作させないでください。
- 器具を改造しないでください。改造した場合、保証が無効となります。
- 本マニュアルでは、器具の正しい設置方法と操作方法について説明します。使用目的以外の用途で器具を使用した場合、器具が損傷し、保証が無効になる可能性があります。
- 器具を低温で保管した場合、または輸送した場合には、室温で 1 時間以上温めてから電源を投入してください。低温の状態ですぐに電源を投入すると、器具が損傷し、製造業者による保証が無効になる可能性があります。
- 器具を輸送する場合には、正規の包装材を使用してください。製造業者が提供したもの以外の包装材を使用した場合、ETC は器具に関する責任を負いかねます。

概要

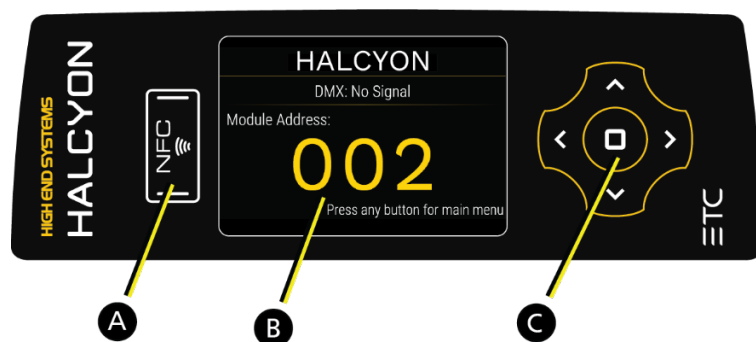
器具



- 1. レンズ
- 2. チルトロック
- 3. ヨークハンドル
- 4. NFC（近距離無線通信）タグ
- 5. タッチスクリーンディスプレイ
- 6. ナビゲーションコントロール
- 7. パンロック
- 8. ハンドル
- 9. 電源入力
- 10. USB ポート
- 11. 電源出力
- 12. DMX 入力
- 13. DMX スルー
- 14. バッテリーコンパートメント
- 15. イーサネットポート（x2）



ユーザーインターフェース



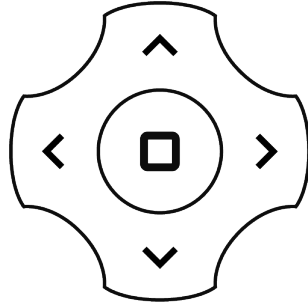
A	NFC タグ : 器具に電源が投入されているかを問わず、「ETC Set Light」アプリを使用して器具を無線で設定します。「 「Set Light」アプリを使用した器具の設定 （32 ページ）を参照してください。
B	タッチスクリーンディスプレイ : 器具の設定オプションをメニュー形式で表示します。ディスプレイをタップすると、 メインメニュー が表示されます。詳細については「 タッチスクリーンディスプレイ （12 ページ）」を参照してください。
C	ナビゲーションコントロール : タッチスクリーンディスプレイの代わりに使用し、器具を設定することができます。上下左右のボタンと入力ボタンを使用し、 メインメニュー を操作します。詳細については「 ナビゲーションコントロール （13 ページ）」を参照してください。

タッチスクリーンディスプレイ

タッチスクリーンディスプレイのアイテムをタップし、選択します。

UI 要素	説明	例
	前のメニューに戻ります。	
	メニュー項目にサブメニューが設定されていることを示します。	
	数字入力用パッドに表示されている記号です。タップし、変更を保存します。	
	数字入力用パッドに表示されている記号です。タップし、タッチスクリーンディスプレイに現在ハイライト表示されている数字の左の数字を選択します。	
*	有効なオプションを示します。	
	値を増減します。	

ナビゲーションコントロール



1. ナビゲーションボタンのいずれかを押し、**メインメニュー**を開きます。



注記： 器具を電源に接続していない場合には、内蔵バッテリーからディスプレイに電源が供給されます。**メインメニュー**を開くには、「Enter」ボタン  を 3 秒間押し続けます。

2. ナビゲーションボタン（上／下／左／右）を押し、メニューを確認します。
3. 「Enter」ボタン  を押し、メニュー項目を選択します。
4. 選択した項目に応じてナビゲーションボタン（上／下／左／右）を押し、選択した項目を変更します。
5. 「Enter」ボタン  を押し、変更した項目を確定します。
6. **メインメニュー**を終了するには、ユーザーインターフェースディスプレイにメインウィンドウが表示されるまで、ナビゲーションボタン（左）を押し続けます。

仕様

技術仕様の詳細については、技術データシート（etconnect.com/Halcyon/Documentation）を参照してください。

動作周辺環境

- 動作周辺温度範囲：-10°C～35°C（14°F～95°F）
- 相対湿度：0%～90%（結露なし）
- 保管温度：-20°C～60°C（-4°F～140°F）
- 屋内専用
- 必ず乾燥した場所で使用すること。保護等級 IP20

電源



警告：器具の内部電源やその他の電気部品の損傷を防止するため、非調光電源に器具を接続してください。調光電源を使用した場合、器具が損傷し、保証が無効になる可能性があります。

電気仕様

- 100～240 VAC (50/60 Hz)
- 表示最大消費電力：931 W

入力と力率

下表に、LED 出力を最大にし、すべてのモーターの機能を有効にした状態で、スタンダードモードの器具を使用して測定した値を示します。

VAC	アンペア	Hz	ワット	VA	PF
100	9.4	50	931	942	0.99
120	7.5	60	904	907	0.99
200	4.4	50	870	887	0.98
208	4.2	60	864	876	0.97
220	3.9	50	851	876	0.97
230	3.9	50	867	873	0.97
240	3.7	60	858	890	0.96

1 回路あたりの器具数

ETC R20 または同等のブレーカーモジュールを介した場合、1 回路につき器具を 1 台接続することができます。上記以外の装置を使用する場合には、上流側のブレーカトリップ曲線を参照してください。

コネクターの仕様



警告：感電や火災を生じる危険があります。本灯具の定格電圧と定格電流の範囲内にある一体型コードグリップに接地型取付プラグを設置してください。

両端の被覆を剥がした状態の電源入力ケーブル（パワコン® TRUE1® TOP 端子付）を同梱しています。電源入力ケーブルの定格は、最大 20A（120 VAC/60 Hz）または 16A（240 VAC/50 Hz）です。設置要件に適合したコネクターを設置してください。下記のカラーコード表を参照してください。

電線カラーコード（EU）	電線カラーコード（米国規格）	接続タイプ	端子
緑／黄	緑	アース／接地線	
青	白	中性線	N
茶	黒	ライン（ライブ）線	L

器具の設置

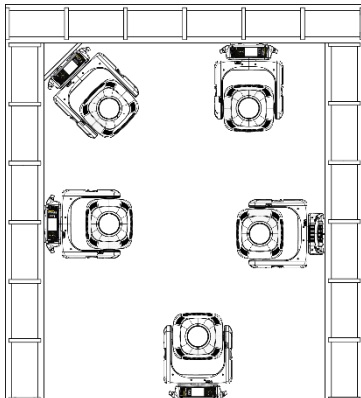
頭上に器具を設置する場合には、必ず資格を有する職員が作業を行ってください。地域／国内の法令と推奨される作業方法をすべて遵守してください。

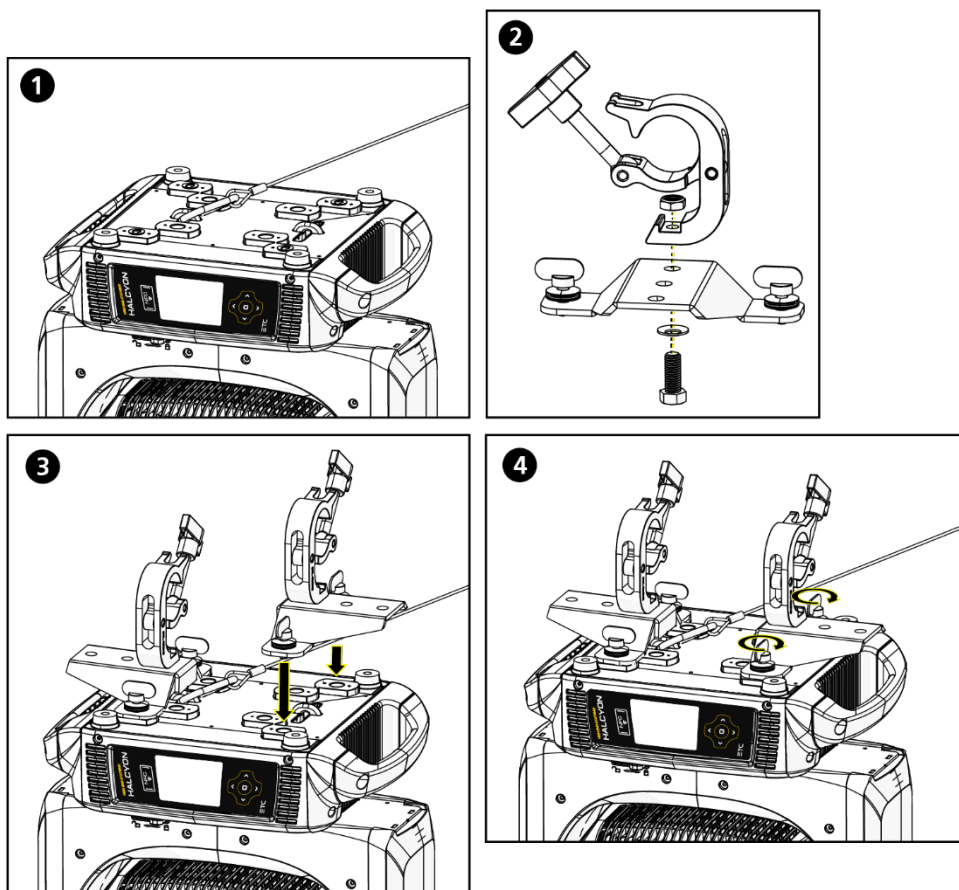


警告：

- 必ず器具重量の 10 倍以上の点荷重を支持することが可能な場所に設置してください。器具の重量は 41.3 kg (91.0 ポンド) です。
 - 必ず二次安全取付具を使用し、設置した器具を固定してください。適切な安全ケーブルを同梱しています。
 - 定格安全係数 10 の安全ケーブル取付具を必ず使用してください。
 - 脚部を使用して器具を設置する場合には、必ず安定した支持面に設置してください。
 - 器具の取付作業や取り外し作業、修理作業を行う際には、設置した器具の真下には絶対に立たないでください。
 - 操作を行う前に、必ず器具の設置に関するすべての安全面と技術面について、資格を有する職員による承認を取得してください。
 - 設置した器具について、必ず資格を有する職員が定期的に検査を実施してください。
-

下図に、器具を設置することが可能な向きを示します。





1. 器具上部筐体の底部にある取付個所（2 個所）の一方を通し、同梱の安全ケーブルを取り付けます。
2. 器具に同梱のブラケットにクランプ（別売）を取り付け、適切なサイズに調整した工具（別途用意すること）を使用して固定します。トラス内で器具を配置する向きに合わせ、使用する 3 ポジションブラケットの穴を自由に選ぶことができます。
3. 取り付けたブラケットとクイックロック固定具の位置を、器具上部筐体の底部にある穴にそれぞれ合わせます。
4. クイックロック固定具をそれぞれ時計回りに回し、完全に締め付けます。固定具が完全に固定されると、カチッと合った感触が生じ、音が鳴ります。
5. 2 個目のクランプとブラケットに対し、手順 2 から手順 4 までを繰り返します。
6. クランプ製造業者の説明書に従い、器具を設置場所に取り付け、しっかりと固定します。オメガクランプを使用する場合には、安全装置を閉め、クランプの蝶ナットを完全に締め付けて固定します。
7. トラスシステムなどの安全な設置場所に安全ケーブルを固定します。
器具を設置場所に固定する際には、地域法令と推奨安全規格を遵守してください。
8. パンとチルトロックのロックを解除します。
9. 器具に電源を投入します。
10. 器具を頭上に吊り上げる前に、設置状態を点検します。

DMX 制御

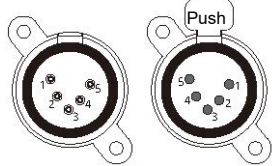
Halcyon Silent 器具の操作には、標準 DMX512 制御バスを使用します。制御バスの制御には、DMX コンソールを使用します。スタンダードモードの場合、61 チャンネルの DMX が器具に必要となります。

制御バスへの器具の取付には、5 ピン XLR コネクター付 2 芯シールドケーブルを使用します（Belden 9729 の使用を推奨）。DMX512 接続部にはクラス 2 の製品を使用しなければなりません。

器具には、5 ピン XLR コネクターが 2 個装備されています。そのうち 1 個が入力用、1 個が DMX スルー用（DMX 制御バス上で器具を直列式・デ이지ーチェーン式に接続する場合に使用）です。

DMX コネクターピン配列

5 ピン XLR コネクター付 DMX ケーブルを準備する場合には、以下の標準ピン配列を使用します。ETC では、Belden 9729 または同等のケーブルの使用を推奨しています（同等の代替品については、ETC ケーブルクロスデータベース（etcconnect.com/cablecross）を参照してください）。推奨タイプのケーブルでは、2 個目のデータペアは使用しません（将来的なサービス用の予備として装備）。

5 ピン XL 用 DMX ピン配列	ピン	用途
	1	共通（シールド）
	2	データ -
	3	データ +
	4	未接続
	5	未接続

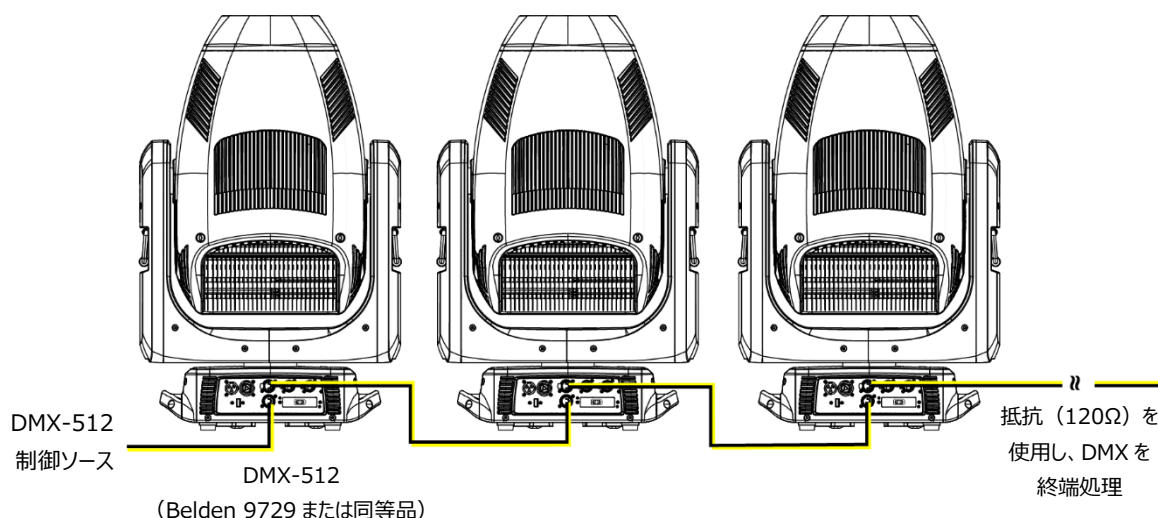
DMX ケーブルの器具への接続

この項目では、DMX に器具を接続するためのガイドラインについて説明します。ご利用の設置環境は、お客様によって異なる場合があります。

1. DMX データケーブルを DMX 制御ソースに接続し、さらに DMX データ系統の先頭の器具の「DMX In XLR」レセプタクルに接続します。
2. DMX データケーブルを器具のデータスルーコネクタからデータ系統の次の器具の「DMX In」コネクタに接続し、データ系統の残りの器具をリンクさせます。



注記： 制御線の累積漏洩電流を 3.5 mA 以下に抑えるため、DMX データ系統（1 系統）に接続する DMX 器具が 32 台を超えないようにしてください。



DMX の終端処理

電気ノイズによるデジタル制御信号の破損（データの反射）を防止するため、DMX 制御系統の終端の器具に DMX ターミネーターを使用するか、または抵抗を取り付けます。

DMX ターミネーターとは、ピン 2 とピン 3 の間に抵抗（120Ω）を接続した XLR プラグであり、DMX 制御系統の終端の器具の DMX 出力レセプタクルに取り付けることができます。担当の認定代理店または ETC

（etcconnect.com/contactETC）まで注文情報についてお問い合わせいただくか、または ETC オンラインショップ（shop.etcconnect.com）から XLR DMX ターミネーターをご購入ください。

DMX 制御とイーサネット出力

High End Systems 器具の多くには、DMX 信号をネットワークデータに自動で変換する機能が搭載されています。しかし、Halcyon Silent は複数のデータソースを処理する能力を備えているため、この機能は搭載していません。

DMX スタートアドレスの設定

制御信号に正しい器具が応答するようにするため、器具ごとに固有の DMX スタートアドレスを設定します。この DMX スタートアドレスとは、制御ソースから送信されるデジタル制御情報を、器具が最初に「受信」するチャンネル番号を指します。

DMX スタートアドレスを変更する場合には、上部筐体に設置されているユーザーインターフェースから操作を行います。「[DMX アドレス](#)」([23 ページ](#)) を参照してください。



例：Halcyon Silent の制御には、61 チャンネルを使用する必要があります。最初の器具の DMX スタートアドレスを 1 に設定した場合には、2 番目の器具を 62 ($61+1$) に、3 番目の器具を 123 ($61+62$) に、といったように順に器具を設定します。

DMX チャンネル

Halcyon Silent 用 DMX チャンネルの最新版については、ETC ウェブサイト (etcconnect.com/Halcyon/Documentation) を参照してください。

イーサネット制御

Halcyon Silent 器具には、イーサネットポートを 2 個装備しています。それにより、Art-Net プロトコルまたは sACN を使用して制御信号を送受信することができます。

Cat5e（またはそれ以上）のケーブルを使用し、TIA/EIA 568B 配線規格に準拠した RJ45 コネクタを使用して終端処理します。

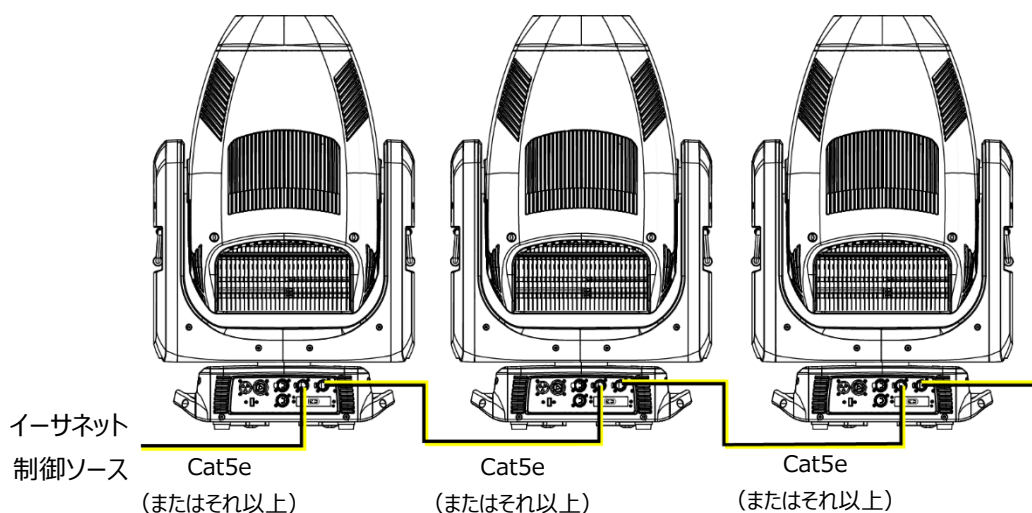
イーサネットケーブルの器具への接続

この項目では、イーサネットに器具を接続するためのガイドラインについて説明します。ご利用の設置環境は、お客様によって異なる場合があります。

1. イーサネット制御ソースから、イーサネット制御系統の先頭の器具に装備されているイーサネットポートのどちらか 1 個にケーブルを接続します。
2. 先頭の器具に装備されている残りのイーサネットポートから、2 台目の器具に装備されているイーサネットポートのどちらか 1 個にケーブルを接続し、先頭の器具と 2 台目の器具を接続します。
3. もう一方のイーサネットポートから、制御系統上の器具に装備されているイーサネットポートにケーブルを接続する作業を繰り返し、残りの器具をリンクさせます。



注記： Cat5e ケーブルの長さが 100 m（328 フィート）を超えないようにしてください。またイーサネット制御系統（1 系統）に接続する器具が 20 台を超えないようにしてください。

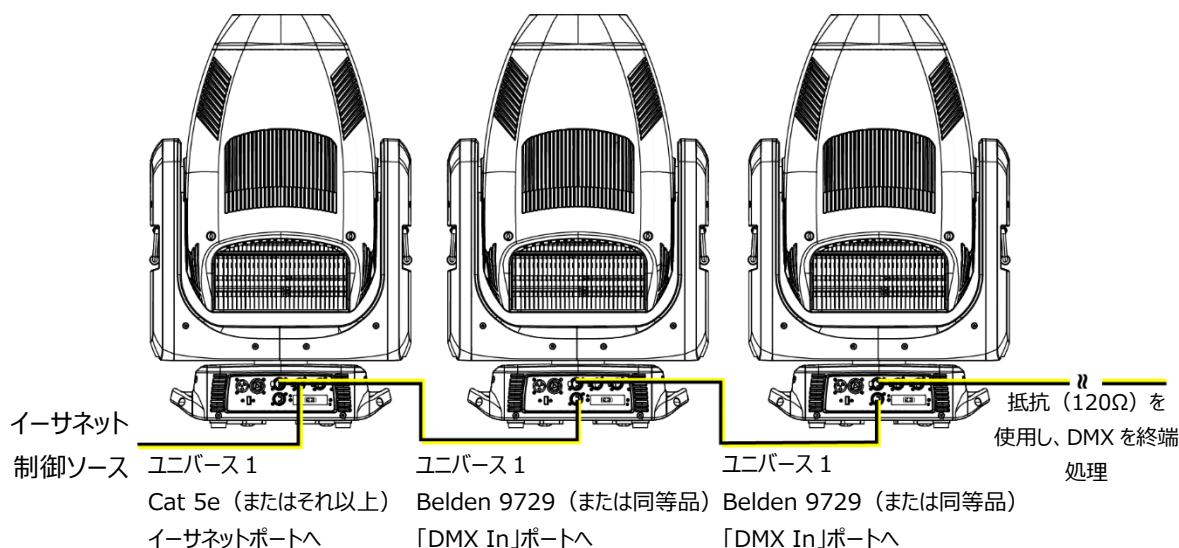


イーサネット制御と DMX スルー

イーサネット制御と DMX スルーを使用することができます。イーサネット制御入力を受信するように器具を設定している場合、DMX スルーポートを経由して DMX が自動で送出されます。DMX 信号は、イーサネット制御を受信している器具のユニバースに対応する単一のユニバースとして送信されます。この機能では、Art-Net プロトコルまたは sACN のいずれかを利用します。



注記： 下図に示すように、器具を接続する際には、各器具の入力端子（イーサネットまたは DMX）と出力端子をそれぞれ 1 個のみ使用します。複数の入力端子や出力端子に接続した場合、器具が正しく機能しなくなります。



DMX の終端処理

電気ノイズによるデジタル制御信号の破損（データの反射）を防止するため、DMX 制御システムの終端の器具に DMX ターミネーターを使用するか、または抵抗を取り付けます。

DMX ターミネーターとは、ピン 2 とピン 3 の間に抵抗（120Ω）を接続した XLR プラグであり、DMX 制御システムの終端の器具の DMX 出力レセプタクルに取り付けることができます。担当の認定代理店または ETC（etcconnect.com/contactETC）まで注文情報についてお問い合わせいただくか、または ETC オンラインショップ（shop.etcconnect.com）から XLR DMX ターミネーターをご購入ください。

DMX スタートアドレスの設定

制御信号に正しい器具が応答するようにするため、器具ごとに固有の DMX スタートアドレスを設定します。この DMX スタートアドレスとは、制御ソースから送信されるデジタル制御情報を、器具が最初に「受信」するチャンネル番号を指します。

DMX スタートアドレスを変更する場合には、上部筐体に設置されているユーザーインターフェースから操作を行います。「[DMX アドレス](#)」（23 ページ）を参照してください。



例： Halcyon Silent の制御には、61 チャンネルを使用する必要があります。最初の器具の DMX スタートアドレスを 1 に設定した場合には、2 番目の器具を 62（61+1）に、3 番目の器具を 123（61+62）に、といったように順に器具を設定します。

制御ソースとネットワークの設定

イーサネット制御を実行するためには、制御ソース（Art-Net または sACN）とユニバースを器具ごとに設定する必要があります。詳細については「[制御オプションの設定](#)」（23 ページ）と「[ネットワークオプションの設定](#)」（24 ページ）を参照してください。

器具の設定

オンボードユーザーインターフェースを使用し、器具を設定することができます。また「ETC Set Light」アプリを使用し、器具を無線で設定することもできます（詳細については、「[Set Light」アプリを使用した器具の設定](#)」（32 ページ）を参照してください）。

設定を開始する前に、器具を電源に接続してください。器具に電源を接続していない場合には、バッテリー電源を使用してユーザーインターフェースに電源を供給します。

DMX アドレス

操作：メインメニュー → DMX Address

器具に使用する DMX アドレスを設定します。

設定メニュー

制御オプションの設定

操作：メインメニュー → Settings → Control

メニュー項目	オプション	説明
DMX Mode	DMX	器具に使用する制御入力を設定します。
	Art-Net	
	sACN	
Data Loss	Fade	DMX 無信号時の制御モードを設定します。
	Hold Last Look	
Protocol	Combined Mode	DMX プロトコルを設定します。 • Combined Mode：6 種類のカラーフラグをすべて統合し、CMY 制御を可能にします。 • Color Linear Mode：カラーピッカーによる色混合を可能な限り正確に実行します。 • Mech Linear Mode：機械的な直線動作を実行します。 Color Linear Mode と Mech Linear Mode では、「Halcyon Silent DMX チャンネルマッピングリファレンスガイド」で定義している標準プロトコルを使用します。また Combined Mode では、「Combined Colormix」プロトコルを使用します。「Halcyon Silent DMX チャンネルマッピングリファレンスガイド」は、ETC ウェブサイト（ etcconnect.com/Halcyon/Documentation ）から無料でダウンロードすることができます。
	Color Linear Mode	
	Mech Linear Mode	

ネットワークオプションの設定

操作：メインメニュー → Settings → Network

「Control DMX Mode」が「Art-Net」または「sACN」に設定されている場合には、ネットワーク設定を設定します。

メニュー項目	オプション	説明
Universe	Net	ネット値を設定します。 注記： ネットとは、連続するサブネット 16 個または連続するユニバース 256 個で構成されるグループです。ネットは合計で 128 個です。
	Subnet	サブネット値を設定します。 注記： サブネットとは、連続するユニバース 16 個で構成されるグループです。以下で説明する「Subnet Mask」とは異なるものです。
	Universe	Art-Net 制御入力を使用する場合には、ユニバース値を 000-255 に設定します。 sACN 制御入力を使用する場合には、ユニバース値を 001-255 に設定します。
IP Address*	XXX.XXX.XXX.XXX	IP アドレスを設定します。
Subnet Mask*	255.XXX.XXX.XXX	サブネットマスク IP アドレスを設定します。
IP Mode	Manual	IP モードを設定します。
	DHCP	

* IP モードを **DHCP** に設定している場合には、DHCP サーバーが IP アドレスとサブネットマスク IP アドレスを指定します。指定されたアドレスを変更することはできません。

パン／チルトオプションの設定

操作： メインメニュー → Settings → Pan/Tilt

メニュー項目	オプション	説明
Pan Invert	Off	器具のパン動作を反転します。
	On	
Tilt Invert	Off	器具のチルト動作を反転します。
	On	
Pan/Tilt Feedback	Off	「 On 」に設定すると、器具ヘッドを手動で移動した場合に、器具が（パン／チルトエンコーダーから受信した位置データに基づいて）正しいパン位置とチルト位置に自動で復帰します。
	On	
Pan/Tilt Limits	Pan Limits	パン／チルト動作範囲の限度を設定します。器具のパン／チルト動作が設定した範囲内に制限されます。
	Tilt Limits	
Pan Range	540	パン動作の範囲を設定します。
	630	
Pan/Tilt Speed	Speed 1	パン／チルト動作の速度（スキャンモード）を設定します。器具を横向き（横吊りまたは「アウトリグ」）に設置する場合には、この設定値を使用してパン／チルト動作を微調整し、ステッピングミスを修正します。
	Speed 2	
	Speed 3	
	Speed 4	
Pan/Tilt Home Mode	Standard	パンとチルトのホーム動作を実行する順番を設定します。 • Standard：パンとチルトのホーム動作を同時に実行します。 • Pan First：パンのホーム動作が完了してから、チルトのホーム動作を開始します。 • Tilt First：チルトのホーム動作が完了してから、パンのホーム動作を開始します。
	Pan First	
	Tilt First	
Follow Spot Mode	Off	「 On 」に設定すると、パン／チルトモーターが動作を停止し、器具ヘッドを手動で動作させることができますようになります。またタッチスクリーンディスプレイには、アドレスの代わりに「FSM」と表示されます。 注意： 器具の電源をオフにしても「 Follow Spot Mode 」設定は維持されます。器具が想定とは異なるパン／チルト動作を実行した場合には、この設定が「 Off 」になっているかどうかを確認してください。
	On	
Pan/Tilt Curve	S-Curve	器具のパン／チルト動作の加速／減速モードを設定します。 • S-Curve：加速／減速を抑え、パン／チルト動作を滑らかに実行します。このモードでは、パン／チルト動作の開始時にヘッドが偶発的に作動する現象が発生しにくくなります。この設定が初期設定となります。 • Linear：パン／チルト動作を一定の割合で加速／減速します。このモードでは、サードパーティ製のフォロースポットソフトウェア／ハードウェアを器具に使用する場合に制御の応答性が高くなります。
	Linear	

調光オプションの設定

操作：メインメニュー → Settings → Dimming

調光カーブとパルス幅変調（PWM）周波数を設定します。初期値は 16kHz です。

- **2.4 kHz** – 完璧で滑らかな調光を優先します。
- **16 kHz** – 2.4 kHz よりも穏やかで、カメラに表示された際にフリッカーを生じないビームを生成します。
- **25 kHz** – 多くのハイスピードカメラに表示された際にフリッカーを生じない穏やかなビームを生成します。

ゴボ色補正の設定

操作：メインメニュー → Settings → Gobo Color Correction

- **OFF**（High Fidelity 器具の初期設定）
- **ON**（Ultra-Bright 器具の初期設定）

「On」に設定した場合、ゴボの使用時には器具がカラーホイールの CTB スロットを常に使用するようになります。カラーホイール上では色は混合されず、使用もされません。

「Off」に設定した場合、プログラムによって指定されていない限り、カラーホイールとゴボを同時に使用することはありません。

温度表示に使用する単位の設定

操作：メインメニュー → Settings → Temperature Units

温度を表示する際に使用する単位を設定します。

- **Celsius**（摂氏：初期設定）
- **Fahrenheit**（華氏）

ディスプレイオプションの設定

操作：メインメニュー → Settings → Display

メニュー項目	オプション	説明
Timeout	1 minute– 60 minutes	最後にユーザーインターフェースを操作してからディスプレイがスリープに移行するまでの器具の待機時間を入力します。初期設定値は 5 分です。
Flip	Off	ディスプレイの向きを設定します。 • Off：ディスプレイの向きは変更されません。 • On：「Auto」設定が無効になり、ディスプレイが 180°反転します。 • Auto：器具の取付方法に基づき、ディスプレイの向きを自動で決定します。
	On	
	Auto	
Brightness	10%–100%	ディスプレイの輝度を決定します。輝度を変更するには、ディスプレイのスライドを左右にドラッグするか、またはナビゲーションボタンの左右をタップします。

ソフトウェアのアップデート

Halcyon Silent 器具がデータに接続している場合には、UpdaterAtor を使用し、ソフトウェアを直接アップデートすることができます。UpdaterAtor に関する情報については、「UpdaterAtor ソフトウェアクイックガイド」と「UpdaterAtor ソフトウェアリリースノート」を参照してください (etcconnect.com/UpdaterAtor/ からダウンロード可能)。

また器具の USB ポートからソフトウェアをアップデートすることもできます。

操作：メインメニュー → Settings → Software Update

Halcyon Silent 用のソフトウェアアップデートオプション (USB、Crossload) がメニューに表示されます。

USB によるアップデート



注意：アップデートが完了し、器具のディスプレイが初期設定状態に復帰するまでは、器具から USB ドライブを取り外さないでください。

操作：メインメニュー → Settings → Software Update → USB

USB ドライブを使用し、器具にインストールされているソフトウェアをアップデートします。

ETC ウェブサイト (etcconnect.com/Products/Automated-Fixtures) から、Halcyon Silent 器具に対応したソフトウェアアップデートを入手することができます。

1. ETC ウェブサイトからソフトウェア圧縮ファイル (zip ファイル) をダウンロードします。
2. zip ファイルの中身を解凍します。
3. zip ファイルの中身を FAT32 フォーマットされた USB ドライブのルートディレクトリに保存します。
4. 器具の USB ポートに USB ドライブを挿入します。
5. メインメニューから、「Settings → Software Update」を開きます。
6. 「USB」をタップします。器具が USB ドライブを読み込みます。ドライブの中身がタッチスクリーンディスプレイに表示されます。
7. ソフトウェアアップデートファイル (.NCW) をタップします。
8. 「Yes」をタップします。ソフトウェアのアップデートが開始されます。
 - アップデートの進捗に関する情報がディスプレイに表示されます。
 - アップデートが完了すると器具が再起動し、タッチスクリーンディスプレイが初期設定状態に戻ります。
9. 器具の再起動が完了したら、USB ドライブを器具から取り外します。

Crossload

操作：メインメニュー → Settings → Software Update → Crossload

DMX 接続を経由して器具から別の器具にソフトウェアをロードします。



注意：「Crossload」オプションを使用して器具をアップデートする際には、最善の結果を得るため、DMX データ系統に接続されている ETC 製品以外の製品をすべてバイパス（短絡）するか、電源をオフにすることを推奨します。



注記：sACN 信号または Art-Net 信号が使用している場合には、「Crossload」オプションを使用して器具をアップデートすることはできません。

1. 必要に応じて「USB によるアップデート」(27 ページ) の説明を参照し、ホスト器具（データ系統に接続されている他の器具に対するソフトウェアアップデートを開始する器具）に最新バージョンのソフトウェアをイ

ンストールします。

2. ホスト器具の「DMX IN」ポートから、DMX 制御ソースの接続を外します。
3. ホスト器具の**メインメニュー**から、「**Settings** → **Software Update**」を開きます。
4. 「**Crossload**」をタップします。
5. 「**Yes**」をタップし、アップデートプロセスを開始します。ソフトウェアのアップデートが開始されます。
 - アップデートの進捗に関する情報がディスプレイに表示されます。
 - アップデートが完了すると器具が再起動し、タッチスクリーンディスプレイが初期設定状態に戻ります。
6. データ系統に接続されているすべての Halcyon Silent 器具に搭載されているソフトウェアが最新バージョンにアップデートされたら、ホスト器具の「DMX IN」ポートに DMX 制御ソースを再度接続します。

キャリブレーションの設定

操作：メインメニュー → Settings → Calibration

このメニューはパスワードにより保護されています。パスワードの初期設定は 4116 です。詳細については、ETC 技術サポートまでお問い合わせください。

キャリブレーションメニューを開いたら、器具の機能を個別に選択し、新しい「ホーム」設定に手で調整します。



注記： 器具を工場出荷時の初期設定にリセットした場合でも、キャリブレーションメニューから変更した器具の設定は変更されません。キャリブレーションメニューから変更しない限り、キャリブレーション設定はそのまま保存されます。

サービス設定へのアクセス

操作：メインメニュー → Settings → Service

このメニューはパスワードにより保護されています。パスワードの初期設定は 4116 です。詳細については、ETC 技術サポートまでお問い合わせください。

メニュー項目	オプション	説明
RDM UID	ランダムに生成された数字	RDM 固有の識別子（UID）を変更します。 RDM 制御を使用している場合には、同じ DMX 制御系統に接続されている器具ごとに固有の RDM UID が指定されていることを確認してください。同じ DMX 制御系統上で RDM UID の重複が生じた場合、データの衝突が生じ、通信障害を引き起こすおそれがあります。 DMX スプリッターと RDM 制御を使用する場合には、スプリッターが RDM に対応していなければなりません。
Reset Error History	Yes	エラーの修正後にエラーメッセージを消去します。
	Cancel	
NFC Lock	Off	「 Off 」に設定すると、NFC タグを使用し、器具を無線で設定することができます。「 「Set Light」アプリを使用した器具の設定（32 ページ） 」を参照してください。
	On	初期設定では「 Off 」に設定されています。

エンコーダーの設定

操作：メインメニュー → Settings → Encoder Select

ポジションエンコーダーを選択します。

- **Photoelectric Encoder**：「Whisper Home」機能を無効にします。起動時に器具がパン／チルトのホーム動作全体を実行します。
- **Magnet Encoder**：「Whisper Home」機能を使用します。動作とノイズを最小限に抑えた上で、パンとチルトのホーム動作を実行します。



注記：光電式キャリブレーション値はディスプレイ PCB に、磁気式キャリブレーション値は 2U PCB にそれぞれ保存されます。上記の PCB のいずれかを交換する場合には、器具のキャリブレーションを再実行する必要があります。詳細については、ETC 技術サポートまでお問い合わせください。

ゴボのインデックス



警告：プログラミング済のショーに関する「Gobo Reset Mode」設定を変更しないでください。この設定を変更すると、すべてのゴボのインデックス設定に使用する 0 位置が変更され、プログラミング済のゴボのキューとプリセットに重大な影響が生じるおそれがあります。

操作：メインメニュー → Settings → Gobo Reset Mode

器具のホーム動作時にゴボのインデックスを実行する方法を選択します。この設定は電源を切断し、再投入した後も維持されます。したがって、別のオプションを選択するまでの間は、選択した内容が有効になります。

- **Fast Reset**：初期設定。このオプションでは、「Test/Home > Home」手順に使用したものと同一方法を使用し、すべてのゴボのインデックスを素早く実行します。
- **All Gobo Reset**：各ゴボのインデックス位置のキャリブレーションを個別に実行します。このオプションを利用すれば、インデックスを機械的に実行していないゴボのインデックスを実行することができます。ただし、ゴボが次の動作に移行する方法が器具によって異なる可能性があります。ゴボを交換した際には、いつでもこのオプションを使用することができます。特にゴボホイール 2 のゴボを交換した場合には、このオプションを使用することをお勧めします。
 - 「All Gobo Reset」オプションを使用してゴボのインデックスを実行した場合、各ゴボのインデックス開始位置が統一されます。ただし、ゴボ変更時の動作はそれぞれ異なる可能性があります。
 - このオプションは、消灯した状態でゴボ変更時にゴボのインデックスを実行する場合には効果を発揮しますが、点灯した状態でのゴボ変更時にはそれほど効果を発揮しません。
 - 「All Gobo Reset」オプションを使用した場合、器具のホーム動作全体に要する時間が約 20 秒長くなります。

オートフォーカスのキャリブレーション

操作：メインメニュー → Settings → AF Config

このメニューのオプションを使用し、オートフォーカス機能のキャリブレーションを実行します。詳細については、「Halcyon オートフォーカスキャリブレーションリファレンスガイド」を参照してください。リファレンスガイドは、ETC ウェブサイト（etcconnect.com/Halcyon/Documentation）からダウンロードすることができます。

工場出荷時設定値への器具のリセット

操作：メインメニュー → Settings → Restore Defaults

「Yes」をタップし、器具を工場出荷時設定値にリセットします。

テスト／ホームメニュー

器具の機械的位置のリセット

操作： メインメニュー → Test/Home → Home

器具の機能（パン、チルト、カラー、ゴボなど）をすべてリセット（「ホーム」）します。

器具のテスト

操作： メインメニュー → Test/Home → Self Test

器具が自動でセルフテスト手順を実行し、各機能をテストします。「**SELF TEST**」バックボタンをタップすると、セルフテストが終了し、ディスプレイが前のメニューに戻ります。

チャンネルの個別テスト

操作： メインメニュー → Test/Home → Test Function

各チャンネルに対し、セルフテストプログラムを個別に実行します。初期設定では「**Control**」に設定されています。チャンネルを個別に選択し、選択したチャンネルに対するセルフテストを実行します。

手動によるチャンネルの個別設定

操作： メインメニュー → Test/Home → Manual Control

器具のチャンネルを個別に選択し、チャンネル値を手動で設定します。「**Manual Control**」モードでは、すべてのエフェクトが無効になり、シャッターが開き、調光インテンシティが 100% に設定されます。

パン／チルトエンコーダーのキャリブレーション

操作： メインメニュー → Test/Home → MagnEncoder AutoCalibrate

操作： メインメニュー → Test/Home → MagnEncoder P/T 50%50% Set

このメニューはパスワードにより保護されています。パスワードの初期設定は 4116 です。詳細については、ETC 技術サポートまでお問い合わせください。

この項目を使用すれば、パン／チルトドライバーPCB やセンサー、エンコーダーセンサー、モーターの修理後にパン／チルトのキャリブレーションを実行することができます。

診断メニュー

ソフトウェアバージョンの確認

操作： メインメニュー → Diagnostics → Software Version

器具にインストールされているソフトウェアのバージョンを表示します。

温度の表示

操作： メインメニュー → Diagnostics → Temperatures

器具ヘッドや LED、器具基部の電源から測定した現在の器具の温度を表示します。

使用情報の表示

操作：メインメニュー → Diagnostics → Time

パラメーター	値	説明
Total Fixture Hours	XXXX hours	器具の総動作時間。
Fixture Hours	XXXX hours	最後に器具の電源をオンにしてからの動作時間。器具の電源をオフにすると、カウンターがリセットされます。
Total LED Hours	XXXX hours	器具 LED の総動作時間。
LED Hours	XXXX hours	最後に器具の電源をオンにしてからの器具 LED の動作時間。器具の電源をオフにすると、カウンターがリセットされます。
Reset Fixture Hours	Yes	このメニュー項目（パスワード保護）を使用し、「 Total Fixture Hours 」を 0 にリセットします。パスワードの初期設定は 4116 です。詳細については、ETC 技術サポートまでお問い合わせください。
	Cancel	メニュー項目を開いたら、「 Yes 」をタップし、器具の総動作時間をリセットします。
Reset LED Hours	Yes	このメニュー項目（パスワード保護）を使用し、「 Total LED Hours 」を 0 にリセットします。パスワードの初期設定は 4116 です。詳細については、ETC 技術サポートまでお問い合わせください。
	Cancel	メニュー項目を開いたら、「 Yes 」をタップし、器具 LED の総運転時間をリセットします。

器具エラーの表示

操作：メインメニュー → Diagnostics → Error History

器具に現在発生しているエラーを表示します。エラーに関する情報については、「[エラーコード](#)」（33 ページ）を参照してください。

センサー状態の表示

操作：メインメニュー → Diagnostics → Sensors

センサーの状態を表示します。それにより、器具がホイールの動作と位置を認識しているかどうかを判断することができます。磁石がセンサーを通過すると、ディスプレイの表示が「**ON**」と「**OFF**」の間で切り替わります。

チャンネルの DMX 値の表示

操作：メインメニュー → Diagnostics → DMX Monitoring

器具の各チャンネルの DMX 値を表示します（器具のパラメーター）。表示したいパラメーター（パン、チルトなど）までスクロールし、値を表示します。

エンコーダー情報の表示

操作：メインメニュー → Diagnostics → Encoder

パン／チルトエンコーダーの位置データを表示します。パン／チルトに関連する問題のトラブルシューティングに利用することができます。

RDM と IP アドレス情報の表示

操作： メインメニュー → Diagnostics → Device

器具に関する以下の情報を表示します。

- RDM 器具ラベル
- RDM 器具 ID
- IP アドレス
 - IP アドレス（「**Settings**」メニューから IP アドレスを変更することができます）
 - マスクアドレス（「**Settings**」メニューからサブネットマスクアドレスを変更することができます）
 - MAC アドレス

「Set Light」アプリを使用した器具の設定



注記： 器具を無線で設定するためには、「**Service**」メニューの「**NFC Lock**」オプションを設定する必要があります。「[サービス設定へのアクセス](#)」（28 ページ）を参照してください。

NFC 機能が搭載されたスマートフォンに「ETC Set Light」アプリをダウンロードします。アプリを使用して器具パラメーターを設定した後、器具の NFC タブにスマートフォンをタップし、器具を無線で設定します（器具の電源がオフになっている場合でも設定することができます）。



Set Light

「Set Light」アプリに関する詳しい情報については、etcconnect.com/Apps を参照するか、コードをスキャンしてください。

ゴボの交換

Halcyon Silent ゴボは、ユーザー側で交換することができます。ETC ウェブサイト

（etcconnect.com/Halcyon/Documentation）から、「Halcyon 交換用ゴボ交換ガイド」を無料でダウンロードすることができます。

エラーコード

器具に電源を供給すると、キャリブレーション（ホーム動作）シーケンスを実行し、検出されたエラーが表示されます。エラーの簡単なリストがディスプレイに表示された後、ディスプレイの左下隅に赤字で「Errors Detected」と表示されます。

1. 「Error History」メニュー（メインメニュー → Diagnostics → Error History）を開き、エラーのリストを表示させます（エラーがメモリから消去されるまでの間は、器具のエラー履歴にエラーが保存されています）。
2. 可能な調整を実施し、エラーを修正します（例えば、「Pan Coarse」エラーと「Tilt Coarse」エラーが表示されている場合には、パンロックとチルトロックが解除されているかどうかを確認します）。
3. 電源をオフにしてからもう一度オンにし、器具のホーム動作を再実行します。
4. 再実行したホーム動作の完了後もエラーが解消されない場合には、ETC 技術サービスに詳細をお問い合わせください。

エラー一覧

Animation

以下のいずれかの状態が発生した場合、器具のリセット後にこのメッセージが表示されます。

- 磁気インデックス回路が誤動作を生じた場合（光学センサーまたは磁気センサーの故障）。
- ステッピングモーターに欠陥が生じた場合。またはメイン PCB 上の関連 IC ドライバーが故障した場合。
- リセット後のアニメーションホイールの位置が初期設定からずれていた場合。

Animation_Rot

以下のいずれかの状態が発生した場合、器具のリセット後にこのメッセージが表示されます。

- 磁気インデックス回路が誤動作を生じた場合（光学センサーまたは磁気センサーの故障）。
- ステッピングモーターに欠陥が生じた場合。またはメイン PCB 上の関連 IC ドライバーが故障した場合。
- リセット後のアニメーション回転ホイールの位置が初期設定からずれていた場合。

Blade Rot

以下のいずれかの状態が発生した場合、器具のリセット後にこのメッセージが表示されます。

- 磁気インデックス回路が誤動作を生じた場合（光学センサーまたは磁気センサーの故障）。
- ステッピングモーターに欠陥が生じた場合。またはメイン PCB 上の関連 IC ドライバーが故障した場合。
- リセット後のブレード回転の位置が初期設定からずれていた場合。

Color

以下のいずれかの状態が発生した場合、器具のリセット後にこのメッセージが表示されます。

- 磁気インデックス回路が誤動作を生じた場合（光学センサーまたは磁気センサーの故障）。
- ステッピングモーターに欠陥が生じた場合。またはメイン PCB 上の関連 IC ドライバーが故障した場合。
- リセット後のカラーホイールの位置が初期設定からずれていた場合。

Focus

以下のいずれかの状態が発生した場合、器具のリセット後にこのメッセージが表示されます。

- 磁気インデックス回路が誤動作を生じた場合（光学センサーまたは磁気センサーの故障）。
- ステッピングモーターに欠陥が生じた場合。またはメイン PCB 上の関連 IC ドライバーが故障した場合。
- リセット後のフォーカスホイールの位置が初期設定からずれていた場合。

Frost 1

以下のいずれかの状態が発生した場合、器具のリセット後にこのメッセージが表示されます。

- 磁気インデックス回路が誤動作を生じた場合（光学センサーまたは磁気センサーの故障）。
- ステッピングモーターに欠陥が生じた場合。またはメイン PCB 上の関連 IC ドライバーが故障した場合。
- リセット後のフロストホイール 1 の位置が初期設定からずれていた場合。

Frost 2

以下のいずれかの状態が発生した場合、器具のリセット後にこのメッセージが表示されます。

- 磁気インデックス回路が誤動作を生じた場合（光学センサーまたは磁気センサーの故障）。
- ステッピングモーターに欠陥が生じた場合。またはメイン PCB 上の関連 IC ドライバーが故障した場合。
- リセット後のフロストホイール 2 の位置が初期設定からずれていた場合。

Frost 3

以下のいずれかの状態が発生した場合、器具のリセット後にこのメッセージが表示されます。

- 磁気インデックス回路が誤動作を生じた場合（光学センサーまたは磁気センサーの故障）。
- ステッピングモーターに欠陥が生じた場合。またはメイン PCB 上の関連 IC ドライバーが故障した場合。
- リセット後のフロストホイール 3 の位置が初期設定からずれていた場合。

Gobo 1

以下のいずれかの状態が発生した場合、器具のリセット後にこのメッセージが表示されます。

- 磁気インデックス回路が誤動作を生じた場合（光学センサーまたは磁気センサーの故障）。
- ステッピングモーターに欠陥が生じた場合。またはメイン PCB 上の関連 IC ドライバーが故障した場合。
- リセット後のゴボホイール 1 の位置が初期設定からずれていた場合。

Gobo 2

以下のいずれかの状態が発生した場合、器具のリセット後にこのメッセージが表示されます。

- 磁気インデックス回路が誤動作を生じた場合（光学センサーまたは磁気センサーの故障）。
- ステッピングモーターに欠陥が生じた場合。またはメイン PCB 上の関連 IC ドライバーが故障した場合。
- リセット後のゴボホイール 2 の位置が初期設定からずれていた場合。

Gobo Rot 1

以下のいずれかの状態が発生した場合、器具のリセット後にこのメッセージが表示されます。

- 磁気インデックス回路が誤動作を生じた場合（光学センサーまたは磁気センサーの故障）。
- ステッピングモーターに欠陥が生じた場合。またはメイン PCB 上の関連 IC ドライバーが故障した場合。
- リセット後のゴボ回転ホイール 1 の位置が初期設定からずれていた場合。

Gobo Rot 2

以下のいずれかの状態が発生した場合、器具のリセット後にこのメッセージが表示されます。

- 磁気インデックス回路が誤動作を生じた場合（光学センサーまたは磁気センサーの故障）。
- ステッピングモーターに欠陥が生じた場合。またはメイン PCB 上の関連 IC ドライバーが故障した場合。
- リセット後のゴボ回転ホイール 2 の位置が初期設定からずれていた場合。

Iris

以下のいずれかの状態が発生した場合、器具のリセット後にこのメッセージが表示されます。

- 磁気インデックス回路が誤動作を生じた場合（光学センサーまたは磁気センサーの故障）。
- ステッピングモーターに欠陥が生じた場合。またはメイン PCB 上の関連 IC ドライバーが故障した場合。
- リセット後のアイリスの位置が初期設定からずれていた場合。

Pan

以下のいずれかの状態が発生した場合、器具のリセット後にこのメッセージが表示されます。

- ヨークの磁気インデックス回路が誤動作を生じた場合（光学センサーまたは磁気センサーの故障）。
- ステッピングモーターに欠陥が生じた場合。またはメイン PCB 上の関連 IC ドライバーが故障した場合。
- リセット後のパン動作の位置が初期設定からずれていた場合。

Prism 1

以下のいずれかの状態が発生した場合、器具のリセット後にこのメッセージが表示されます。

- 磁気インデックス回路が誤動作を生じた場合（光学センサーまたは磁気センサーの故障）。
- ステッピングモーターに欠陥が生じた場合。またはメイン PCB 上の関連 IC ドライバーが故障した場合。
- リセット後のプリズムホイール 1 の位置が初期設定からずれていた場合。

Prism 2

以下のいずれかの状態が発生した場合、器具のリセット後にこのメッセージが表示されます。

- 磁気インデックス回路が誤動作を生じた場合（光学センサーまたは磁気センサーの故障）。
- ステッピングモーターに欠陥が生じた場合。またはメイン PCB 上の関連 IC ドライバーが故障した場合。
- リセット後のプリズムホイール 2 の位置が初期設定からずれていた場合。

Prism_Rot 1

以下のいずれかの状態が発生した場合、器具のリセット後にこのメッセージが表示されます。

- 磁気インデックス回路が誤動作を生じた場合（光学センサーまたは磁気センサーの故障）。
- ステッピングモーターに欠陥が生じた場合。またはメイン PCB 上の関連 IC ドライバーが故障した場合。
- リセット後のプリズム回転ホイール 1 の位置が初期設定からずれていた場合。

Prism_Rot 2

以下のいずれかの状態が発生した場合、器具のリセット後にこのメッセージが表示されます。

- 磁気インデックス回路が誤動作を生じた場合（光学センサーまたは磁気センサーの故障）。
- ステッピングモーターに欠陥が生じた場合。またはメイン PCB 上の関連 IC ドライバーが故障した場合。
- リセット後のプリズム回転ホイール 2 の位置が初期設定からずれていた場合。

Tilt

以下のいずれかの状態が発生した場合、器具のリセット後にこのメッセージが表示されます。

- 磁気インデックス回路が誤動作を生じた場合（光学センサーまたは磁気センサーの故障）。
- ステッピングモーターに欠陥が生じた場合。またはメイン PCB 上の関連 IC ドライバーが故障した場合。
- リセット後のチルト動作の位置が初期設定からずれていた場合。

Zoom

以下のいずれかの状態が発生した場合、器具のリセット後にこのメッセージが表示されます。

- 磁気インデックス回路が誤動作を生じた場合（光学センサーまたは磁気センサーの故障）。
- ステッピングモーターに欠陥が生じた場合。またはメイン PCB 上の関連 IC ドライバーが故障した場合。
- リセット後のズームホイールの位置が初期設定からずれていた場合。

メンテナンス



注意：感電の危険があります！ 電源を切断してから修理作業を実施してください。

ETC では、器具が適正に動作する状態を維持し、早期故障を防止するため、器具の定期メンテナンスの実施を推奨しています。

定期点検・修理時には、以下の点に留意してください。

- 器具の設置や器具の部品の取付に使用しているねじがすべてしっかりと嵌合しており、腐食していないこと。
- 筐体やレンズ、吊金具、設置場所（天井、吊り具、トラス）が変形していないこと。
- 可動部品に摩耗の兆候が見られないこと。また問題なくスムーズに動作すること。
- 電源ケーブルに損傷や材料の疲労がなく、土埃が付着していないこと。
- 予備部品が必要な場合には、ETC または担当の認定 ETC 代理店から注文した正規品のみを使用すること。

器具の清掃

1. レンズにほこりや汚れがたまり、出力が低下するのを防止するため、湿らせたリントフリー布を使用し、レンズの内側と外側を定期的に清掃してください。アルコールや溶剤は絶対に使用しないでください。
2. 風量を最大限確保し、冷却効率を高めるため、器具と通気口を定期的に清掃してください。それにより、可能な限り最適な状態で光源を作動させることができます。

ヒューズの交換

器具のヒューズをユーザー側で交換することはできません。詳細については、ETC 技術サービスまでお問い合わせください。お問い合わせ先については、「[技術サービスへのお問い合わせ](#)」（7 ページ）を参照してください。

バッテリーの交換



警告： バッテリーを交換する際には、必ず指定の型式と定格のヒューズを使用してください。

Halcyon Silent 器具の交換用バッテリーについては、ETC からご購入いただけます。ETC または担当の認定 ETC 代理店にお問い合わせの上、製品番号 2595A3220 をご注文ください。

必要な部品と工具：

- 交換用バッテリー1 台：充電式リチウムイオンバッテリー、ICR 14500、3.7 V、700 mAh 以上
 - #2 プラスドライバー
-
1. 器具から電源を外します。
 2. #2 プラスドライバーを使用し、バッテリーカバーを器具に固定しているネジ 2 本を取り外します。
 3. 古いバッテリーを取り外し、交換用バッテリーを取り付けます。
 4. バッテリーカバーを器具に取り付け直します。

コンプライアンス

最新のコンプライアンス情報の詳細については、製品データシート

(etcconnect.com/Products/Automated-Fixtures) を参照してください。コンプライアンス資料を含む、すべての製品資料については、etcconnect.com/Products を参照してください。

FCC コンプライアンス

High End Systems Halcyon Silent

(FCC に関するお問い合わせ先) :

Electronic Theatre Controls, Inc.

3031 Pleasant View Road

Middleton, WI 53562

+1 (608) 831-4116

etcconnect.com

本器具は、FCC 規則パート 15 に準拠しています。(1) 本器具による有害な干渉が生じないこと、ならびに(2) 本器具が受ける干渉（想定外の動作を引き起こすおそれがある干渉を含む）に対応していることの 2 項目が運用条件となります。最新のコンプライアンス情報（FCC コンプライアンスを含む）の詳細については、etcconnect.com/Products を参照してください。



注記： 本器具については、FCC 規則パート 15 に基づく試験を実施し、クラス A デジタル機器の制限に準拠していることを確認しています。当該制限は、商業環境において器具を運用する際に、有害な干渉に対して合理的に保護することを目的として設定されたものです。本器具は、無線周波数エネルギーを生成し、使用し、放射する能力を備えています。また説明書に準拠しない方法を用いて設置し、使用した場合には、無線通信に対して有害な干渉を生じるおそれがあります。Electronic Theatre Controls, Inc.による明示的な承認を取得することなく、本製品を改造または変更した場合、ユーザーが本製品を運用する権限が無効になる可能性があります。住宅区域において本器具を運用した場合、有害な干渉を生じる可能性があります。有害な干渉を生じた場合、ユーザーは自らの費用負担により、干渉を是正する義務を負います。



本社■ 米国ウィスコンシン州ミドルトン | +1 608 831 4116

国際オフィス■ ロンドン（英国） | ローマ（イタリア） | ホルツキルヒェン（ドイツ） | パリ（フランス） | 香港 | ドバイ（UAE） | シンガポール
ニューヨーク（ニューヨーク州） | オーランド（フロリダ州） | ロサンゼルス（カリフォルニア州） | オースティン（テキサス州） | © 2025 Electronic
Theatre Controls, Inc.

ウェブ etcconnect.com | サポート support.etcconnect.com | 問い合わせ先 etcconnect.com/contactETC

商標・特許情報：etcconnect.com/ip | 第三者ライセンス契約情報：etcconnect.com/licenses

製品情報及び仕様は変更される場合があります。ETC では、本マニュアルを完全な形で提供していただくようお願いいたします。

2572M1210-1.3.4 Rev A Released 2025-05

日本語 (Japanese) Ver1.0 2026/01/23

ウシオライティング株式会社

東京本社	〒 104-0032	東京都中央区八丁堀 2-9-1 RBM 東八重洲ビル	Tel : 03-3552-8264 (直)
大阪事業所	〒 532-0011	大阪府淀川区西中島 7-6-15 プライムプレイス新大阪	Tel : 06-6459-9816 (直)
つくばテクニカルセンター	〒 300-2635	茨城県つくば市東光台 5-2-4	Tel : 029-847-7421 (直)

<https://www.ushio-pro.com/entertainment/>

ウシオライティング株式会社は ETC/High End Systems ブランド の正規輸入代理店です。